

2008 年度

科目名  日本語教育学概論 A	対象学科・学年 文学部日文1 回生 文学部英米2 回生	担当者  古川 由理子
授業テーマ 日本語教育の実情とその背景を概観する。		
授業の概要と目標 授業では以下の2 点を目標にする。 (1) 日本語教育に関する基礎的知識を身につける。 (2) 文章の要旨をまとめ、それを口頭または文章で発表することができる。 予習を前提とした授業とする。必ず指定された箇所を授業までに読んでくること (予習シート配布予定)。		
評価方法 授業中の課題と前期テストで総合的に評価する。出席および授業に取り組む姿勢を積極的に評価する。 出席・授業態度 60% + 前期テスト 40% 尚、試験を受けなかった者は原則として授業放棄とみなす。		
テキスト 『日本語教育を学ぶーその歴史から現場までー』	著者 遠藤織枝編	出版社 三修社
参考書 授業中に指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容  授業スケジュール・内容  1. <u>オリエンテーション (授業の進め方について)</u> 2. 第1 章 日本語を学ぶ人・教える人 (1) 3. 第1 章 日本語を学ぶ人・教える人 (2) 4. 第1 章 日本語を学ぶ人・教える人 (3) 5. 第2 章 言語学 (1) 6. 第2 章 言語学 (2) 7. 第3 章 日本語教育現場における異文化コミュニケーション (1) 8. 第3 章 日本語教育現場における異文化コミュニケーション (2) 9. 第3 章 日本語教育現場における異文化コミュニケーション (3) 10. 第4 章 何を教えるか、どう教えるか (1) 11. 第4 章 何を教えるか、どう教えるか (2) 12. 第4 章 何を教えるか、どう教えるか (3) 13. 模擬授業 14. <u>前期テスト</u> 15. <u>前期テストのフィードバック</u>  尚、受講者の状況によって、授業内容や進行状況を変更する場合もある。		